

災害に備えて、赤ちゃんの ための食品備蓄を始めましょう

災害時には、乳児用ミルクや離乳食などの特殊食品が手に入りにくくなるのが想定されます。

平時から少なくとも2週間分を備蓄することが推奨されます。

乳幼児のための食品備蓄のポイント

- 粉ミルク
- 使い捨てスプーン
- 好物の飲み物
- 哺乳ビン
- 多めの飲料水
- レトルトなどの離乳食
- 紙コップ
- 好物の食品



災害時には、普段とは違う環境で、落ちつかないことが想定されます。

お菓子や缶詰、レトルト食品などから、子どもが日ごろから大好きな食品や飲み物、リラックスするもの、安心するものを備えておきましょう。

◆ 粉ミルクの作り方

準備 するもの

- 哺乳ビン(なければ、紙コップ、スプーン等でもOK)
※使う前に、きれいに洗って熱湯で十分消毒してください
- 飲料水 水道水が使えない時は、国産のミネラルウォーター
給水車の水は当日中に使いましょう

井戸水は×

作り方

手は清潔に

(出典:How to Prepare Formula for Bottle-Feeding at Home(FAO/WHO)より抜粋・改変)



やけどに注意しながら、一度沸騰させたお湯を哺乳ビンに注ぎます。



粉ミルクの缶の説明書を目安に、必要な量の粉ミルクを哺乳ビンに入れます。



混ざったら、すぐに冷やします。
※水は、哺乳ビンのキャップより下に当てます



手首にミルクを一滴たらし、熱くなく、生温かければ大丈夫です。

出典：農林水産省「要配慮者のための災害時に備えた食品ストックガイド」
全文はこちらから→

北陸農政局

